

二〇二六年 夏号

海 禅 寺 新 聞

Vol.50

『海禅寺新聞』第50号

今年も暑さの夏がやってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。大自然が織りなす「酷暑」という働き。私たち人間が抵抗したところで、和らぐものではありません。「暑い、暑い」と苛立たず、賢くしなやかに向き合って参りましょう。

2年前に設置した本堂の大型エアコンは、今年も大活躍しております。酷暑の日のご法事では、①号機から③号機までフル回転です。最近エアコンたちに、番号ではなく仏教的な名前を付けてあげようかと思案中です。

「涼風観音」「大般若冷空機」「清涼三昧」とか、。何か妙案がありましら、お寺にお知らせください。暑さの夏。できるだけ笑ってやり過ごしましょう！



『生きる力・125号』送付

おなじみ真言宗智山派が発行する情報誌「生きる力」。本号も読みごたえのある内容です。仏教の世界を新しい視点で伝えてくれるユニークな執筆陣にも注目です。

ちなみに7頁に胎蔵界 大日如来の話題が登場しますが、海禅寺の本尊様も同じ仏様をお祀りしています。寺の記録によると、これは寛延2年（1749）に、上田柳町に住む「岡崎氏 浄心（俗名 平助）」が施主として納めた仏像です（仏像の光背に

記載あり）。「岡崎平助」といえば、海禅寺近所の柳町にある、岡崎酒造の当主が代々名乗っていた名前です。つまり海禅寺の本尊様は、1749年に、岡崎酒造の当主の当主が納めた仏像ということですね。推測するに、おそらく当時も海禅寺の境内地から湧き出る水が柳町へも引かれていたのかもしれない（現在に至る保命水）。きつと酒造りに欠かせない水を導いてくれる寺院として大切にしてくださっていたのでしよう。

今や全国区の日本酒人気を誇る岡崎酒造さんと海禅寺との関係。何だか誇らしい気持ちになるのと同時に、歴史の浪漫を感じます。



施餓鬼会のご案内

夏恒例の施餓鬼会法要、今年も例年同様の時間帯で実施いたします。皆様のご先祖、そしてどなたからも供養されない御霊を皆で供養し福德を授かり、それを広げる大切な法要です。詳しくは同封の別紙、『施餓鬼会法要のご案内』をご一読ください。

日程…令和8年8月12日（水）
時間…十時 諸報告

十時十分 法話 小宮 俊海 師

大正大学・智山伝法院 非常勤講師

演題『私たちの宗団

真言宗智山派を知ろう』

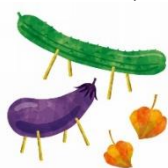
十一時 施餓鬼法要

十一時五十分 お塔婆授与（順次散会

◎法要前の法話は、今年も副住職が総本山での修行僧時代を共にし、その後、宗派の大学院でもお互いに研鑽を重ねた法友、小宮俊海先生にお越しいただきます。この機会に改めて、海禅寺が所属する「真言宗智山派」とはどういう宗派なのかをわかりやすくお話いただきます。「知る」ことで広がる世界をどうぞお楽しみ！

※海禅寺墓地にて、塔婆立てが古いお塔婆でいっぱいになっております場合は、それぞれの墓地脇に塔婆を寝かせて積み置いてください。境内外墓ご利用のお檀家さんの古いお塔婆も、寺にご持参いただければ読経供養し、お焚き上げいたします。

※できるだけお盆中にお持ちください。



告知 今年も団参やります！

だんさん

川崎大師・成田山を参拝

大本山と横浜千葉を味わう

祈りと味覚の団参旅行

神社仏閣を団体で参拝することを「団参」と言います。昨年、久ぶりに京都の総本山を参拝する旅行を企画したところ、大勢のご参加と共に大好評をいただきました。そして、ぜひ今年も開催して欲しいという多数の熱心なご要望にお応えして、只今準備中です。

今回は、真言宗智山派の三大本山のうち、川崎大師平間寺と成田山新勝寺をお参りします。初日は海禅寺から貸切バスに乗り、厄除け弘法大師として名高い川崎大師を

参拝。護摩祈祷を受けてから境内の案内をいただきます。副住職の修行同期である仲間がご案内くださる予定です。その後、横浜中華街でランチバイキング。お腹を満たした後は東京湾アクアラインを経由して千葉県へ渡ります。お宿は海の見える温泉宿を確保してあります。

二日目は港でお買い物をしてから成田山新勝寺へ参拝。迫力ある護摩祈祷をお参りさせていただき、千葉名物の鰻を味わい、周辺観光をしてから帰路へ着きます。今回も前回大人気だった熟練バスガイドさんが一緒くださいますので、道中も楽しい団参旅行となることでしょう！

日程…令和8年10月3日（土）4日（日）
行程…【初日】朝午前5時45分海禅寺集合→大型バスで川崎へ→昼食

横浜→安房小湊温泉宿泊

【二日目】道の港まるたけ→成田さん参拝→昼食鰻→帰路へ→

費用…1人5万円程度を予定（バス代含む交通費・昼食2回・宿泊夕食費）

申込…ご希望の方はまずは寺へお電話にてご一報いただくか、左記QRコードからお申し出ください。詳細をお渡ししますので、内容をご確認いただいた上で、申込書のご提出をお願いいたします。

※海禅寺のお檀家でない方もご参加いただけます。お誘い合わせの上、どうぞお申し込みください



報告 本堂大壇修復完了！

ちようど一年前の海禅寺新聞夏号で、住職が令和七年の正月に「御七日御修法」に出仕させていただいた記念として、本堂大壇一式の修復発注したことを話題にいたしました。海禅寺本堂中央に長らく鎮座する密教修法に欠かせないこの大仏具は、独特の存在感を放っていました。しかしあちこち痛んでおり、気になっておりました。

この度、京都の仏具店、作島さんに依頼し、京仏具の各職人さん方が総力を結集し、約1年をかけて丁寧な修復作業をしてくださいました。解体作業をしていく中で、この大壇一式は、海禅寺第十四世の「俊如」という江戸期のお坊さんが当時、飯山の仏具職人に発注して納めたものだということとが判明しました。大壇内部にその事を明記する書付があったのです。

改めて海禅寺という古刹がこれまで果たしてきた役割と、歴史的重みを実感いたしました。この先人たちが守り継いできた仏教の法燈は、これからも責任をもって守り継いでいく所存です。



立派に修復された大壇一式は、今春4月末日に、無事海禅寺本堂に納品されました。大変に費用がかかる一大事業でしたが、住職が思いを込めて私費より納めさせていただきました。設置された今となつてはもう見る事が出来ませんが、大壇裏面には、

令和七年乙巳年
御七日御修法 供僧阿闍梨 出仕記念
海禅寺 第二十三世 俊勝

と、彫り込まれています。海禅寺の歴史に新たな1ページが重ねられました。夏の施餓鬼法要にご参拝の折は、美しく修復された大壇をぜひご覧ください。ここに謹んでご報告いたします。

一口法話 中二との対話

年に一度、近くの上田市立第三中学校の授業を担当しています。家庭科の授業の中で乳幼児を知ることができるテーマにした分野があるのですが、最寄りの認定こども園の保育者として、生徒さんの理解を深めるべく、2年生のすべてのクラスで2コマずつお話をさせてもらっています。

ところで中学2年生と言えば、今は俗に「中二（チュウニ）」という言葉で表現される思春期真っただ中で、ちよつと背伸びしたいお年頃の人たちです。熱心に話を聞いてくれる生徒さんがいる一方で、斜に構えている人もいます。そういう時期ですね。そうした中ですが、私は生徒さんに知識を得る事と合わせて、乳幼児理解を通じて、自分を知りなおし、自分のかけがえのない存在価値に気づいてもらえたらと願い、話をしています。言うまでもなく、中二の彼ら彼女たちとて、ほんの十数年前には赤ち

やんとしてこの世にやってきて、幼児期、そして小学校時代を経て、今に至ります。多感な時期にいる今だからこそ、周囲からたくさんの手助けをしてもらいながら、毎日小さな幸せを存分に感じていたあの時代を思い出してもらえたらと思うのです。そしてそのことがきつと、何か大切なことを回復する力になるのではないかと信じています。

翻つて考えてみると、そこそこの年を重ねてきている私たちとて、かつては赤ん坊の時があり、子ども時代がありました。時に前向きな気持ちで過去を振り返ることは、私たちがこれから生きぬいていく際の、あたたかな支えになるのではないかと考えています。

さて、中学校での授業の1週間後、中学生は実際に芙蓉園へやってきて、子どもたちと遊ぶ時間を過ごしました。園庭で園児たちと笑顔で走り回る中学生たちの開放的な様子が印象的でした。そして授業でちよつとつづばっていた生徒さんほど、楽しそうにしている様子が微笑ましかったです。

私たちも、私のこれまでに感謝しながら、これから生きて参りましょう。



ご協賛のお願い

青年会合同結集 信州大会

真言宗には日本全国に18の本山（派）がありますが、その中で特に私たち「智山派」、そして「豊山派」「新義真言宗」の3宗派は関係が深く、2年に一度、全国の青年僧侶が一堂に介する「結集（けつじゅう）」という大会を行っています。

今回は今年12月に長野県を会場として、副住職も所属する長野北部教区青年会が担当する運びとなりました。これまでは研修会と法要が中心の大会でしたが、今回は趣向を変えて、法話を得意とする青年僧侶が全国から集まり、皆でそのお話を聞く会を企画しています。自分自身の体験を、仏教の学びをもつて自分の言葉で語る法話。これはまさにその方自身の生き様が如実に表れる営みです。そしてこの大会の実行委員長を、私副住職が仰せつかつております。開催に向けて各方面からご注目をいただきながら着々と準備を進めておりますが、大会の運営資金にやや心配があり、現在企業への広告協賛を募っています。もしお力添えいただければ幸いです。また、お力添えいただけそうな会社様や個人事業主の方がおられましたら、ぜひご一報ください。全国へ配布されるパンフレットに企業広告を掲載できます。大会の詳細につきましては、下記QRコードよりホームページをご覧ください。



参加申込できるのは、各派所属の青年僧侶のみです。

編集後記

今年も開山祭に伴う霊峰白山の登拝修行会へ参加して参りました。実は今春、友人の誘いでハーフマラソン大会に初挑戦するために、朝夕時間をみつけては、少々走る習慣が身に付きつつありました。そのせいか体力的には苦しみの少ない山修行でした。今回3度目の修行会では、各所でのお経を先頭で唱えるお役目を頂戴し、充実した経験をさせていただきました。お隣の芙蓉園で日々勤務する中では、こうした修行の機会を得ることはなかなか難しいです。しかし時折こうした時間をいただくことで、海禅寺の僧侶として、皆様の様々な仏教のご要望にしっかりお応えできる心身を整えておきたいと、気持ちを新たにしております。